

■協議項目(分類)、選定理由

No.	項目	その項目を選んだ理由	キーワード	分類								
				おこし 観光・地域	産業	まちづくり	全・防災	安心・安 健康・福祉	子育て	教育	環境	
1	与板地域の住民のながおかタニタ健康くらぶへの入会推進をする	クラブに入会することにより、健康への意識が高まり、ひいては医療費削減、病気予防につながる。せつかくの長岡市ならではのシステムを使わない手はない。 6月よりコミセンに体組成計も設置されるし、歩くことによって(ポイント獲得など)メリットがあることを周知する。 入会者数を全地域で1番にする。	タニタくらぶ、健康、医療費削減、病気予防						○			
2	アーケード修復を含む、商店街の景観を良くする	やはり商店街は地域の顔となる場所なので城下町にふさわしい景観がほしい。(塩沢の牧之通りのようになると良い)	アーケード、商店街、城下町、景観	○		○						
3	地域おこし協力隊を地域全体で応援する	縁あって与板に来てくださる方なのだし、何かきっと新しいアイデアを持っていられるはず。地域のためにがんばってもらうためには住民があたたく支えていかなければいけない。	地域おこし協力隊、新しいアイデア	○								
4	BBQ園から広げる与板観光	BBQ園だけの集客ではなく、BBQ園にこられたお客様をいかに与板の観光に結びつけられるかが大事だと思う。 どうしたらBBQ園以外に足を向けてもらえるかを考えたい。 産業、飲食、史跡への足がかりへ。	BBQ園、観光産業、飲食、史跡	○								
5	与板夢会議の開催夢の実現へ	前回、与板夢会議に出席し、与板の人がこんなにやりたい事や希望があるのだと実感した。 まだ、実現していないこともあるので、それを実現させて、夢会議ではちゃんと叶えてくれると実績をつくり、与板の住民がドンドン意見できる町を目指したい。	会議、夢、希望	○		○						
6	与板地域の観光・景観アンケートの実施	改めて与板地域の皆様に観光や景観、施設等のアンケートを実施して、もう一度観光のヒント、掘り起こしができる。	アンケート、観光、景観、施設、掘り起こし	○		○						
7	与板地域への修学旅行、体験学習の誘致	毎年確実な観光等のリピーターの確保	修学旅行、観光、リピーター	○							○	
8	氷彫刻の制作・展示	夏のイベントとして「中川清兵衛ビールフェスタ」と同時開催 氷彫刻師：林屋正樹さん(HP有り) 十日町市山崎乙1463にて林屋旅館を経営・・・ネット情報による ※日程的にH29年度実施が無理ならば、H30年度の協議項目としたい。	夏、イベント、ビールフェスタ、氷彫刻	○								
9	電子母子健康手帳	現行の母子健康手帳のサポート役として、妊娠中の体調や出産・子育ての記録、予防接種の管理をスマートフォン等で行う事業の実施。(県内では、新潟市、新発田市等で実施)	母子手帳、電子、スマートフォン、予防接種						○			

No.	項目	その項目を選んだ理由	キーワード	観光・地域 おこし	産業	まちづくり	安心・防災	健康・福祉	子育て	教育	環境
10	消防団員の減少	10年後、20年後のこの地域を支えるべき世代のつながりの基本を作る場であると共に、有事の際には大きな力となるべく影の地域を支える存在であると思うが・・・、自分の都合だけで、近所と協力しない人が増えてきているという事だろう。人口減少している与板が安心、安全で暮らせる地域づくりには、一番大事であると思う。	消防団員、地域を支える、世代のつながり、人口減少、安心、安全				○				
11	河川公園の更なる観光化(旧黒川の浄化)	「楽山苑」「兼統お船ミュージアム」「BBQビール園」と与板の観光の中心としての河川公園を更に集客するため、さらに子育て世代の移住のきっかけ作りにつなげるため。また、この近辺における飲食店及びコンビニ等の誘致の促進、補足。	河川公園、観光、子育て世代、店舗誘致	○	○						
12	観光・地域おこし・産業について強化充実させる	最近、三条や燕の金物が世界にも通用するほど注目をあびている。与板にも負けないくらいの伝統工芸品があるのにそれをアピールする事もしていない。もっと宣伝し、県内外からも人を呼び込める魅力のあるものを作れないかと思った。	打ち刃物、伝統、世界、情報発信	○	○						
13	与板町の特産品・農産物のPR	与板町には、全国的に有名なノミ・鉋・彫刻刀などの打ち刃物があります。農産物でも米や大豆・里芋などが安定して作付けされています。このような特産品・農産物等を日曜大工、版画教室、農作物を使用した料理教室を企画し、打ち刃物の魅力・与板の農産物を使った新しい料理の紹介。与板の特産をPRしてはと思います。	打ち刃物、農産物、教室	○	○						
14	立ヶ入スキー場を活用したボードパークを作る事業	現在、冬期に立ヶ入スキー場にボードやスキーをする20代の子達がキッカーやパークを作って遊んでいる。より交流が生まれる場所にするための拡充事業をしたらどうか？	立ヶ入スキー場、交流	○		○					
15	与板町商店街の活性化	与板町は十五夜祭りやキャンドルナイト@与板などで祭りやイベントの時は盛大に盛り上がり町外からも人が来る。素晴らしいことであるが、それでは主催者側(ボランティア)の負担が減らない。魅力的な店舗を増やし商店街を活性化することで、日頃から町外からの人が増え(交流人口増加)お金を落とすことになる。このようにビジネスとして町外から与板町に人を連れてくることによって、税金にも頼らず町民の負担も少ない形で街おこしができる。 ex)十日町のキナーレ 山条のスパイス研究所 中心地にオシャレで洗練されたコミュニティ施設を設立し、街全体をプランニングする。	十五夜祭り、キャンドルナイト、商店街、活性化、交流人口	○	○						
16	「子育て支援策」—子育て環境の充実—	近年、核家族化や生産人口の減少に伴い、全国的に共働き世帯が増加し、長時間の保育を必要とする子どもが増えています。与板地域も同様であり、旧長岡市や近隣産業地域のベッドタウンであるこの地域において、現在、年度途中の入所希望(育児休業明け等)が年々増加しています。こうした子どもたちの受け入れを円滑に行うことにより、人口の流出を防ぐと共に転入世帯の増加を促進できると思われます。上記を踏まえ、多様化した子育てニーズに対応すべく施設整備を含めた総合的な子育て環境整備が急務であると考えます。	核家族化、共働き、施設整備、環境整備						○		○
17	コミュニティバスの運行	高齢者の事故が多発しているため、免許返還された人に対して、コミュニティバスがとても欠かせない。他の地域は、病院や長岡までの用事のある人は、今現在タクシーで送り迎えに使用されています。	高齢者、交通安全、免許返納、コミュニティバス				○	○			○

No.	項目	その項目を選んだ理由	キーワード	お こ し	観 光 ・ 地 域	産 業	ま ち づ く り	全 心 ・ 防 災	安 心 ・ 安 全	健 康 ・ 福 祉	子 育 て	教 育	環 境
18	地域資源の掘り起こし、磨き上げ	地域の人たちが気付いていない資源の掘り起こしを通して、新たな気付きや興味関心呼び起こし、地域への愛着と誇りを醸成していく必要がある。老若が集い、地域の歴史や文化について語り合う方策、機会等について広い目で考え、文化遺産の継承・発信する。「与板ファン」「与板応援団」の獲得を目指す必要がある。	地域資源の掘り起こし、気付き、歴史、文化	○									
19	観光・地域おこし(本格的なホールの設置)	各種団体、小中学校等の発表の場講演会等に利用で地域興しにつながる。	ホール、発表の場	○			○						
20	安心・安全(防災について)	消火栓、消火用せき板等の管理が消防署or町内会or消防団なのか所在が分からない。与板体育館が地区防災センターに指定されているが水害時に機能するの心配である。	消火栓、消火用せき板、地区防災センター、水害				○	○					
21	ボランティアガイドの育成	今年も楽山亭のライトアップも終わり、多少の協力をさせて頂き、今後の継続においてやはり若い人の力が必要ではないかと思う。これからは、子ども達のカモ借りるという事で子どものボランティア育成を考えていったらどうか。また、親子でガイドも楽しいのではないか。	楽山亭、ライトアップ、ボランティアガイド、若者、子ども	○									
22	花の広場の整備	今与板の河川公園にスポットライトがあたりつつあります。以前から思っておりましたが、ビール園の先にある花の広場の活用を今後、ワークショップなりを立上げ、整備し、そこでちょっとお茶を楽しめるところになるとうれしい。スマートインターも開通し、河川の交通量もかなり多くなって、河川公園の方にも目が向けられるのではないのでしょうか。菖蒲園があり、その先に花の広場があり、また、いろんな人の訪れがあるのではないのでしょうか。	河川公園、ビール園、花の広場、菖蒲園、ワークショップ、スマートインター	○			○						